

淡路市【兵庫県】

歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



関西地方

■ 協議会メンバー
淡路市教育委員会 / 淡路市 / 株式会社ほくだん / 生田地域活性化協議会 / 淡路島和歌の路創造委員会 / 五斗長まちづくり協議会 / 舟木の歴史文化をいかす会

■ 構想策定年度…
平成二十八年三月
■ 補助事業期間…
平成三〇年四月二日
平成三一年三月二十九日

歴史文化基本構想の概要

「淡路市固有の歴史文化の価値を共有し、市民・行政・専門家等が協働して守り、育み、その魅力に磨きをかけて、まちづくりに活かしていく」基本理念をとりまとめた。平成28年度には淡路島3市と共同して「日本遺産」の認定を得るなど、歴史文化遺産を地域づくりに活かす取り組みを進めてきたが、少子高齢化・過疎化の影響から、淡路市内においては、地域の格差が顕著となっている。そこで、地域活性化ならびに豊かな歴史文化を将来世代に伝えていくことを目的に策定した。

観光拠点形成の方向性

- ・東浦・西浦に分かれた独自の個性的な風土を活かす
- ・東西地域をつなぐ周遊性の形成
- ・市域全体に歴史文化遺産を活かしたまちづくりを展開

観光に関する課題

- ・地域資産の確立が不足
- ・情報の発信や人材の育成が不十分
- ・主体間の連携が不十分で、組織的な活動をしていない

事業概要

歴史文化遺産情報発信事業

西浦歴史文化保存活用区域の文化財を中心に、日本遺産構成文化財や地域の人の取り組みを紹介。文化財の魅力と地元ならではの情報などを盛り込んだパンフレットを作成した。

情報
発信



【KPI】パンフレット配布数・ダウンロード数：
0部(H29)→3,000部(R2)

五斗長垣内遺跡体験ボランティア養成講座事業

観光旅行者等に国指定史跡である五斗長垣内遺跡を深く理解してもらうために、淡路市民および近隣都市住民などに公募し、年10回の展示案内解説講座、体験学習における指導講座、自然体験講座等を開講することで、案内ガイドや体験活動を補助するボランティアを養成した。

人材
育成



【KPI】ガイド利用の来訪者数：0名（H29）→500名（R2）

生田地域文化遺産PRイベント開催事業

地域の歴史文化遺産である居館を中心に、美しい棚田景観やため池、地域の社寺、祠などをめぐるガイドツアーを実施。また、近接地域と連携し、遺跡まつりや東山寺もみじ祭りと同じ日に開催することで観光客の周遊を促した。また、長距離ウォークを実施することで健康関心層へのPRにもつなげた。

普及
啓発



【KPI】イベント参加者数：1倍（H29）→1.25倍（R2）

舟木地域文化遺産活用事業

弥生時代後期の遺跡である舟木遺跡やその中心地にある石上神社、各所に存在する祀所、そこで行われる祭・行事について、価値を共有した。地域住民にとどまらず、遺跡・民俗文化財に興味のある人々によって交流人口の増加をはかり、観光拠点としての基盤をつくった。

普及
啓発



【KPI】会員の増加：0名（H29）→15名（R2）

成果

① ボランティア講座生の参加

観光旅行者等に五斗長垣内遺跡を深く理解してもらうため、体験ガイドの実技指導や解説講座、竪穴建物復元講座を実施した。認定を受けたボランティアは、体験イベント時に積極的に活動している。

② 地域文化遺産のPR

歴史文化遺産の豊富な西浦地域の活性化をめざし、地域住民が主体となった活用事業と結びつけ、文化財の保存継承のための仕組みを形成した。また、これにより観光客の周遊につなげた。